

# 山城



## 地域



中村診療所

中村 肇

八幡市でも京阪石清水八幡宮駅(旧八幡市駅)周辺は高齢過疎地となっており、外来患者さんの平均年齢は74歳と半数以上が後期高齢者です。介護保険の申請が必要な方や、通院が困難となり在宅訪問診療に切り替える患者さんも年々増加しています。

在宅訪問診療患者さんの平均年齢は

### 高齢過疎地での在宅訪問診療

83歳で、認知症や脳梗塞などの脳神経内科疾患、骨折後などの整形外科疾患、その他循環器疾患や呼吸器疾患、さらにはがんの末期の方とさまざまな診療科の疾患が対象となります。独居の方も多く、施設入所の方約30人を含め約130人を訪問しています。毎月4〜5人の新

規依頼と、4〜5人の入院や死亡による中止があり、平均訪問期間は約2年(がん末期の方は約2カ月)です。病状が落ち着いている方はできるだけ月1回の訪問とし、1日の訪問は10〜15人、月に200〜250回の訪問診療をしています。

特別養護老人ホームの嘱託医もしています。特別養護老人ホームでは平均年齢89歳、男女比は1対9。最近はかなり要介護度が高くなってから入所されることが多く、ほとんどの方から入所時にみどりの同意をいただいております。約2〜3年の在所期

間を経て多くは老衰でのみどりとなります。

約130人の在宅訪問診療患者さんと約70人の特別養護老人ホームの患者さんをほぼ1人で24時間対応し、年間約40枚の死亡診断書を書いていきます。このようなやり方はもう時代遅れかもしれませんが、最近訪問看護ステーションが増え、毎日あった臨時往診数も減り、在宅訪問診療もずいぶんやりやすくなりました。

末期がん患者さんは、最期までご自宅を希望されるか

緩和ケア病棟入院を希望されるかはケ-

ス・バイ・ケースで臨機応変に対応しています。ご自宅で最期を迎えられる場合でも訪問看護ステーションの方にずいぶん助けられています。

あと何年この仕事が続けられるかわかりませんがもうしばらくは頑張ってみようと思っています。

(綴喜医師会)